教育目標　心身を鍛え、たくましく生きる

三中だより

令和５年　１月 11 日
１月号
調布市立第三中学校
chofu3@chofu-schools.jp

「お正月」

校長　大瀬　義一

新年あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。今年も調布三中の教育にご理解とご協力をお願いいたします。コロナ禍もまだ収まらず、心配は多いですが、２月には１年と、昨年行くことができなかった２年生がスキー教室に行きます。できる限りの活動はさせていくつもりですので、どうぞよろしくお願いします。

２０２２年は、世界に目を向けるととても大変な年でした。ロシアによるウクライナ侵攻については、この２１世紀に本当に起こったこととは思えぬ暴挙でした。罪のない市民や子供たちの命が無慈悲に失われていく報道を聞くにつれ、とても悲しく無力感をおぼえます。１２月に３年生の面接練習をするなかで、気になるニュースはと聞くとサッカーのワールドカップを挙げる生徒がほとんどだったのですが、中には戦争について憂慮しているという話をしてくれた生徒がいました。試みに「君はどうしたらよいと思う？」と難しい質問をしたところ、その生徒が言うには、「今自分の力でできることは少ないけれど、自分のまわりの人たちから、平和に話し合いができるようにしていきたい。それがひいては世界平和につながればよいと考えます。」という大変すばらしい答えを聞くことができました。一国の首相や大統領であれば、直接的な解決を模索することもできるでしょうが、人類がずっと抱え続けて解決できていない争いごとの本質、そこを多くの人が考え、いかに争う気持ちを持たずに隣人と付き合っていけるのか、そういうことを皆ができるようになれば世界平和につながっていくだろうという考えはとてもすてきだと思いました。

２学期の終業式で、冬休みには家族との時間を大切にしてほしいという話をしました。我が家では、双子の孫娘たちが正月にやってきました。双子はまだ１歳の赤ん坊なので、泣き声の大合唱で大変でしたが、それもまたかわいいもので、すっかりじいじになっていました。一番上の孫は小学校１年生で、学校の宿題で日本の正月らしい遊びをしてくるというのがあって、１００年ぶりに「福笑い」をさせられました。正直ちっとも面白くなかったのですが、小学一年生はきゃっきゃっと喜んで大はしゃぎでした。これが正月なんだなぁと実感したものでした。デジタルのゲームばかりでなく、たまにはアナログ遊びを家族でわいわいやるのもいいものですね。そんな宿題を出す先生も粋な計らいともおもいますが、宿題にしないとやらないという、今の日本の正月風景というのも味気ないのかもしれません。

学校というところは、生徒と先生で授業をしているところではありますが、各生徒に家庭があり、それぞれが違った考えをもとに、生活をしてその環境で育った中学生がクラスに集まって生活するわけですから、先の隣人から話し合える平和を構築するには絶好の環境というわけですね。それぞれの考えや立場の違いを理解しつつ、共存していくことがとても大切です。ついでに話すと、PTA 会長との会話の中で、教師というのは「聖職」だと思うという話があり、私もまったく同感です。こんなに平和に寄与する職業はほかにないと思います。ただ、その「聖職」を担っている教員たちは、決して聖人でも仏様でもありません。ただの普通の人間です。普通の人間が聖職を担っているという重圧を皆さんにも理解してもらえるとありがたいと思います。

11 月,12 月も様々な行事がありました。一部をご紹介します。

教育目標　自ら学び考え、向上しようとする人

校外学習・一年生

11 月 25 日に一年生による鎌倉校外学習を実施しました。中学校へ入学してから初めての校外学習です。事前学習では自分達で見学地を決め、班行動計画表を作成しました。当日は、天候にも恵まれ、チェックポイントである鶴岡八幡宮を全員で無事に通過し、一年生にとって多くの学びとなる一日になりました。

校外学習・二年生

11 月 25 日は二年生も浅草・上野校外学習を実施しています。今回はフォトロゲイニング体験に挑戦しました。これは時間内にスポットを複数個所巡り、見本と同じ写真を撮れば得点を得ることのできる新しい試みです。訪れたチェックポイントでは班ごとに工夫して写真を撮る姿が見られました。

土曜道徳授業～いのちの授業～

12 月 10 日に「いのちの授業」を行いました。今回は「がん教育」をテーマとし、講師としてお招きした岸田さん、坪内さんにがんに関する知識やご自身の闘病経験について講演をしていただきました。生徒達にとってこの授業は命の尊さを考えるよい機会となりました。

パラリンピック種目体験授業

12 月 16 日に 2 年生生徒がパラリンピック種目であるボッチャを体験しました。講師である BOCCIA　BASE　TOKYO スタッフの方に競技の歴史やルールついて説明をしていただきデモンストレーションもしていただきました。その後、チームに分かれ実際にゲームを行いました。審判や得点計算も自分達で行い、競技中はお互いに作戦を立てながらゲームを進めていきました。

調布市人権擁護委員作文コンテスト審査会に於いて優秀賞を受賞された皆さんをご紹介します

2 年　髙原　彩優音さん（市代表作品として多摩東人権擁護委員協議会に選出）
2 年　川島　詩依華さん　　2 年　望月　凛菜さん
※尚、表彰式は今月行われます。

教育目標　自他をおもいやる、心豊かな人